

鹿児島大学数理情報科学談話会

第203回

日時：2015年7月10日(金) 16:30 – 17:30

場所：理学部2号館404室

講師：河澄 響矢氏 (東京大学)

題目：曲面上の曲線の交叉のテンソル表示について

概要：向きづけられた曲面上の自由閉曲線の生成する自由加群は、閉曲線の(自己)交叉を記述する Goldman 括弧積と Turaev 余括弧積によって Lie 双代数の構造をもつ。

この Lie 双代数は「写像類群のリー代数」と見ることができ、そこから具体的な情報を引き出すために、

Goldman 括弧積と Turaev 余括弧積をテンソル表示する必要がある。

本講演の前半で述べるように、Goldman 括弧積は、久野-河澄および Massuyeau-Turaev によって

ほぼ完全にテンソル表示されている。

一方、Turaev 余括弧積については未解決であるが、

Bernoulli 数が関係している。

本講演の後半では、研究の現状を報告する。

お問合せ：談話会委員 田中 恵理子 (✉ erico@sci.kagoshima-u.ac.jp ☎ 099-285-8988)